（議案第1号）　　　　　2018（平成30）年度事業報告書

特定非営利活動法人　生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会

１　事業の成果

　　　2018（平成30）年度は、ほぼ例年通り以下の4事業を行い、フォーラムのテーマとして「心不全」と「腎臓病」を採りあげた。

　　　2018年度の着目すべき取り組みとしては、①千葉日報紙上で　小象の「元気！でいこう」　　の連載を開始し広く県民に生活習慣病防止に向けて情報発信を行ったこと、②フォーラムにクイズ・質問コーナーを取り入れることにより出席者の積極的な参加を促し生活習慣病に関する関心を深めたこと、の二点があげられる。

　　　なお、2018年度末現在の正会員数は189名であった。

　（１）　調査・情報事業

　　　　　　ホームページを充実させ、生活習慣病に関する情報を会員及び市民に発信し、当会の活動状況を紹介した。小象の会会報25号と26号を発行し、会員や関係機関及び市民に情報を提供した。また、糖尿病通信を発行、市民・患者に情報提供した。

千葉日報に　小象の「元気！でいこう」を連載し、2018年10月5日の第1回から2019年3月22日の第12回まで、生活習慣病の防止に役立つ情報の提供を行った。

　（２）　講演会・セミナー等開催事業

　　　　　　6月の総会開催時のフォーラムで『心不全パンデミックに備える！～心不全は予防できる～』、2月フォーラムで『私たちの大切な腎臓を守ろう！～CKD、DKDって何⁇～』と題した講演を主催した。さらに、2月フォーラムではクイズ・質問コーナーを設け、『さらにさらに腎臓病を理解し、対策を考えよう』と、参加者・助言者が対話を重ね、関心と理解を深めた。

　　　　　　医療関係団体や行政機関などからの要請に応え、出前講演などを実施した。

　（３）　連携・協力事業

　　　　　　医療関係団体や行政機関・関連団体と連携し、諸会合やイベントに参加して専門的な立場から禁煙活動を含め情報提供し、意見を述べ、また、受動喫煙防止対策の提言を行うなどの活動を行った。

　　　　　　前年に引き続き、ZOZOマリンスタジアムでバックスクリーンの電光掲示板によるメッセージ発信を行うとともに、入場ゲート付近で血糖値検査・運動機能テスト・健康相談などを含む市民への啓発を行った。

　（４）　関連事業

　　　　　　学会などの場で会の活動状況の広報を行った。

　　　　　　当会の活動が、コープみらい、千葉日報福祉事業団の助成対象に選ばれた。

　　　　　　6月の総会で議決された定款変更が、所轄庁である千葉市の認証を受け、2018年7月13日から施行された。　また、この定款変更に伴う貸借対照表の公告は、2018年8月3日当会ホームページに掲載して行った。

２　事業の実施に関する事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事業内容 | 実施時期 | 実施場所 |
| 調査・情報事業 | (1)ホームページ及びブログを活用して会の活動の概況や生活習慣病に関する情報を発信(2)会報の発行第25号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2,000部第26号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2,000部(3)糖尿病通信7号印刷・配布(4)千葉日報に小象の「元気！でいこう」を連載 | 通年6月12月11月10月5日～ | 全国全県全県― |
| 講演会・セミナー等開催事業 | (1)フォーラム（講演会）　　第24回フォーラム『心不全パンデミックに備える！～心不全は予防できる～』　 　　　　　　　　　　　110名第25回フォーラム『私たちの大切な腎臓を守ろう！～CKD、DKDって何⁇～』　　　　　　　　　　　　　116名(2)出前講演等（習志野市受動喫煙防止公開市民講座等）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　14件 | 6月2月通年 | プラザ菜の花千葉市民会館各地 |
| 連携・協力事業 | (1)会議・イベントへの参加①市民のための糖尿病教室②健康ちば地域・職域連携推進協議会③ＣＤＥ‐Ｃｈｉｂａフェスティバル(2)野球場でのメッセージ発信・啓発活動　　　　　　　　　　　3回(3)ＣＤＥ‐Ｃｈｉｂａ認定試験への協力※その他連携・協力への参画　1件 | 11月 9月3月10月6月7月9 月通年 | 千葉市千葉市ZOZOマリンスタジアム千葉市県内各地 |
| 関連事業 | (1)広報　日刊紙等・関連学会(2)健康関連図書等の企画・発行(３)当会の活動がコープみらい、千葉日報福祉事業団の助成対象に(4)定款変更施行・貸借対照表公告 | 通年7月、8月 |  |